

校務の効率化をめざして

-生成 A I の校務利用-

Vol.4 令和7年 1月 10日発行

「校務DX(デジタル・トランスフォーメーション)」をテーマに、「できることから」という視点でコンテンツを提供します。

山口県教育庁教育情報化推進室

A I 利用の可能性

教職員が生成AIの仕組みや特徴を理解した上で、生成された内容の適切性を判断できる範囲内で利用するという前提下、校務において生成AIを積極的に利活用することは有用であると考えられる。

文部科学省が掲げる教育DXの推進において、生成AIの利活用は、教員の業務を効率化し、働き方改革を支える重要なツールとなる可能性が示されています。さらに、業務負担の軽減が、子どもたちと向き合う時間の創出につながる事が期待されています。

冒頭の文章は、令和6年12月に改訂された文部科学省のガイドライン※において示された内容であり、今後、教育の現場で生成AIの活用がより一層進むものと考えられます。

一方で、利用にあたってはハルシネーションなど正確性のリスクや著作権侵害のリスク等があることを常に意識する必要があります。校務での生成AIの利用に関して、同ガイドラインでは以下のように示されています。

教職員自身が生成AIの利活用を通じて新たな技術に慣れ親しみ、利便性や懸念点、賢い付き合い方を知っておくことは、児童生徒の学びをより高度化する観点からも重要である。

まずは、教師自身が安全な環境での利用を通して小さな成功体験を積み重ねながら、AIリテラシーを高めるとともに、校務DXを進めていきましょう。

※【出典】 初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン(Ver2.0)
https://www.mext.go.jp/content/20241226-mxt_shuukyo02-000030823_001.pdf

事例紹介④ 生成 A I を活用した業務改善

【★文部科学省チェックリスト項目34★】

・「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成AIを校務で活用していますか

R5達成状況

1.2%



資料の作成
小テスト作成
意見の集約 等

生成AIでサポート

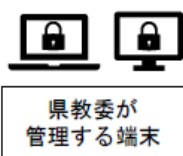


アイデアの提供
たたき台の作成
支援ツールとして利用 等

(県立学校教職員向け) 生成AI(Microsoft Copilot)の利用方法

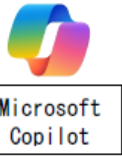
県立学校の教職員は、県教委が付与したMicrosoftアカウントを用いて、校務で生成AIを利用することができます。詳しくは、令6教情第216号「校務における生成AIの利用ガイドラインの策定について」を御確認ください。

【Microsoft Copilotイメージ図】



県教委が
管理する端末

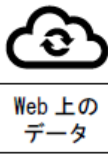
①指示・質問
③回答の生成



Microsoft
Copilot

入力したデータや、生成された回答データを学習しない

②検索・学習



Web 上の
データ



利用はここから

※MS アカウントでサインイン

さらなるDXのアイデア



生成 A I の利用が有効と考えられる分野や具体的な内容及びプロンプト例を、やまぐち I C T 新たな学びラボに掲載しています。是非ご覧ください！

※サイトへのログインパスワードは上記通知に記載しております。

